

令和2年度 奄美市一般会計補正予算（第8号）の概要

「奄美市新型コロナウイルス感染症緊急対策事業（第4弾）」

1. 予算の考え方

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、地域の声や実情を踏まえ更なる感染拡大防止対策、生活支援、経済対策の必要性を鑑み、市として今やるべき必要な事業を組み立てたもの。

2. 予算規模

今回の補正額 258,300 千円

一般会計の計 40,131,036 千円（401億円規模予算）

3. 予算内訳

■事業費 258,300 千円（市事業、一部国庫補助）

■財源内訳

国庫補助金 1,500 千円

一般財源 256,800 千円（財政調整基金）

■コロナ関連予算累計 6,250,423 千円

うち国庫補助金等 4,815,156 千円

臨時交付金 228,396 千円

財政調整基金 1,206,871 千円

（前年度3月補正～今回10月補正：第4弾までの予算の累計）

（新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金は歳入済の1次配分のみを計上）

（今回補正後の財政調整基金残高 2,445,912 千円）

4. 事業内容

感染拡大防止対策 115,200 千円

■啓発・情報発信 2,100 千円

広く市民や来島客に対し、必要なかつ正確な情報をタイムリーに提供していくため、各種情報媒体を活用し発信する。

■感染予防対策の強化（水際対策） 7,700 千円

利用者の多い施設や各種大会等の集客行事への対応として、サーモグラフィを購入し、感染予防対策を強化する。

○内容 5 台購入

○予算 7,700 千円 (5 台×1,540 千円/台)

■インフルエンザ予防接種助成事業 37,100 千円

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、特に重症化のリスクの高い高齢者を対象に、費用の全額を助成し、予防接種の促進と感染予防対策を強化する。

○対象 65 歳以上の高齢者 (最大 13,500 人)

○期間 令和 2 年 10 月 1 日～令和 3 年 1 月 31 日まで

○内容 全額助成 (1 人 1 回)

○予算 37,100 千円

予防接種助成 35,000 千円 (現行予算額+今回追加助成)

事務経費 2,100 千円 (広報・郵送費等)

1 人あたり費用 3,720 円のうち

現行 (予算化) 2,220 円 (市の助成額)

自己負担額 (拡充) 1,500 円 (今回追加助成)

○参考 (県事業)

「鹿児島県インフルエンザ予防接種助成事業」

小児 (生後 6 か月～小学 6 年生まで) と妊婦を対象に、費用の一部 2,000 円を補助するもの。

■新型コロナウイルス検査助成事業 4,200 千円

新型コロナ感染症に感染した場合に、特に重症化のリスクの高い高齢者を対象に、検査費用の全額を助成し、検査による感染不安の解消、集団感染と重症化を抑制する。

○対象 老人福祉施設等の利用者（65歳以上）

老人福祉施設や社会福祉施設において感染者が確認された場合に、当該施設利用者及び関係者（65歳以上）のうち、行政検査の対象とは別に検査を希望する者（想定150人）

○内容 PCR検査の全額助成（1人あたり28,000円）

○予算 4,200千円

検査助成額 4,200千円（150人×28,000円）

1回あたり費用28,000円のうち

国庫補助 10,000円（基準単価20,000円の1/2）

市助成額 18,000円

■店舗感染防止対策支援事業 51,000 千円

店舗の更なる感染防止対策にかける費用の一部を助成し、新しい生活様式への対応を促進し、安全安心な取組を応援する。

○対象 小売店・飲食店・理容美容店 500店舗（想定）

○内容 感染防止対策用品等の整備にかかる費用への助成
（消毒器、フェイスシールド、検温計、換気・飛まつ防止対策等）
1店舗あたり10万円（上限）

○予算 51,000千円

助成額 50,000千円（500店舗×10万円）

事務経費 1,000千円

■緊急避難住宅整備事業 13,100 千円

新型コロナ感染症に関し、一時的に避難が必要となった場合に備え、既存の市有住宅を改修し、感染症拡大対策を強化する。

○対象 小浜定住促進住宅（7戸）

○内容 住宅改修工事

○予算 13,100千円

■新生児特別給付金 32,000 千円

国の特別給付金の基準日（令和2年4月27日）以降に誕生した新生児を対象に加え、国制度同様に1人あたり10万円を給付し、子育て生活を応援する。

（同学年となる子供たちを一同に支援する。）

- 対象 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに誕生した新生児
300人（想定）
- 内容 10万円を給付（1人あたり）
- 予算 32,000千円
 - 給付金 30,000千円（300人×10万円）
 - 事務経費 2,000千円

■未就学児世帯応援事業 15,500 千円

休園等に伴い、保育のために休職などの影響の大きい世帯を応援するため、商品券を給付し、子育て生活を応援する。（生活応援と経済対策へ）

- 対象 0歳から6歳までの小児世帯（すべての未就学児を対象）
2,500人（想定）
- 支援 5,000円分の商品券を給付（子ども1人あたり）
- 予算 15,500千円
 - 支援金 12,500千円（2,500人×5千円）
 - 事務経費 3,000千円

■島外で頑張る学生応援事業 43,000 千円

新型コロナの影響により、休校や休職（アルバイト）などの厳しい状況にある中で、帰省も我慢して島外で頑張っている学生へ激励金を給付し、学生生活を応援する。

（各世帯の実情に応じて、仕送りや贈り物へ使える、使い勝手もよい給付金）

- 対象 島外の学校に通学する高校生・専門学校生・大学生・大学院生
（保護者が奄美市内在住者に限る）
1,400人（想定）
- 支援 3万円を給付（1人あたり）
- 予算 43,000千円
 - 支援金 42,000千円（1,400人×3万円）
 - 事務経費 1,000千円

■児童養護施設学生応援事業 700 千円

児童養護施設で生活する子供たちは、18歳を迎えた高校卒業後には施設を退所し、支援世帯や法的支援もなく自立して生活しないといけない。

特に今年度は、新型コロナの影響により、求職・進学も大変厳しい状況下にある中でも、施設を出て、社会への第一歩を踏み出さなければならない。

その厳しい環境下にある子供たちに激励金を給付し、社会への第一歩を応援する。

- 対象 児童養護施設で生活する高校生等（今年度の卒業生と現役大学生）
7人（想定）
- 支援 10万円を給付（1人あたり）
- 予算 700千円（7人×10万円）

経済対策（市民・事業所支援） 51,400 千円

■島民向け「宿泊・体験プログラム助成事業」 42,900 千円

6～7月に実施した同取組は、予想を超える実績となり、市民・事業者共に好評と効果を得た結果であった。

新型コロナ感染症の影響により、未だ回復には届かない観光業界において、身近ですぐに実行できる同事業を今回は島内5市町村が連携し取り組み、住民の地域を見直す機会の創出と事業者の事業継続を後押しする。

奄美大島5市町村が連携し取り組むことにより、お互いに各地域の魅力(宝)を再認識し、「島内観光の需要喚起」と「奄美観光を応援する機運の醸成」を促進する。

- 対象 奄美大島すべての住民
抽選方式
- 期間 令和2年12月上旬から令和3年3月末まで（予定）
- 内容 宿泊・体験プログラム費用への助成
費用の5/10の補助
奄美大島5市町村における登録のすべての施設が利用可
- 予算 42,900千円（追加計上，事業の拡充）
助成金 40,000千円
事務経費 2,900千円
(奄美市事業費計 60,000千円 → 5市町村計 約 80,000千円)
(5市町村連携により利用者の増，事業規模を拡大)

■島外向け「いも一れ奄美」交流拡大キャンペーン事業 1,100 千円

新型コロナ感染症の影響により、減少の続く観光客の誘客対策として、鹿児島県の小・中学校の修学旅行を奄美大島へ誘致するため、今からできることとして「広報周知キャンペーン」からスタートする。

島外の子供たちとの交流拡大（誘客）、来島客増による外貨獲得（経済回復）に取り組むとともに、離島にとってなくてはならない重要な交通基盤の航路・航空路の利用促進・路線の維持確保に寄与する。

- 対象 鹿児島県をはじめ国内の小・中学校の修学旅行
- 内容 広報周知キャンペーン
来年度以降の修学旅行誘致のためのキャンペーンから
- 予算 1,100 千円
(広報宣伝費・旅費等)

■卒業生向け「卒業の思い出づくり」応援事業 7,400 千円

新型コロナ感染症の影響により、各種行事が中止や縮小となり、特に今年度の卒業生は、これまで取り組んできた成果を発揮する場や、仲間との交流も存分に行えない中で卒業を迎えることになる。

共に学校生活を歩んできた仲間との「卒業の思い出づくり」として、費用の一部を助成し、学校生活最後の卒業イベントを応援する。

- 対象 奄美市内のすべての小・中・高校生 1,260 人（36 校）
小学 6 年生（420 人）・中学 3 年生（400 人）・高校 3 年生（440 人）
- 期間 令和 2 年 12 月 1 日から令和 3 年 3 月 28 日
- 内容 1 人あたり 5,000 円（上限）の助成
(各校自由に計画，助成金の使い道も自由)
(交通費・イベント費用・施設利用料など用途は自由)
小規模校（全校生徒数 100 人以下，高校以外）でバス利用の場合は各校 50,000 円（上限）を助成（追加）
- 予算 7,400 千円
学生 6,300 千円（1,260 人×5,000 円）
小規模校 1,100 千円（22 校×50,000 円）

■「奄美市新型コロナ対策官民連携協議会」の設置 500 千円

新型コロナ感染症の影響が続く中、これまでの間、市としても独自に即応的かつ機動的な新型コロナ対策を講じてきたところであるが、今後は感染防止対策の継続徹底とともに、短中期的な視点からの経済の回復が重要な課題となっている。

この現状を踏まえ、「感染防止対策と経済回復対策」の両面を基軸に官民による協議会を設置し、現状における問題点、求められる施策に関する対応等について意見交換・情報の共有できる体制を整え、官民関係機関との連携強化を図る。

○協議会の構成

感染防止対策・経済対策・教育・地域サイドからの代表により構成

○スケジュール

令和2年11月中 設置・第1回開催

以降、状況・必要に応じて適宜開催

○予算 500 千円（事務経費）

参考（特別会計）**■【国】新型コロナ感染症対策対応従事者慰労金交付事業 1,850 千円**

新型コロナ感染症に対する医療提供等を担う医療機関などに勤務し患者と接する医療従事者や職員に対し、慰労金を給付する。

国庫補助事業 10/10

○対象 住用診療所・笠利診療所

令和2年3月26日～7月31日の間に10日以上勤務した者

○内容 5万円を給付（1人あたり）

○国民健康保険直営診療施設勘定特別会計 1,650 千円

住用診療所 500 千円（10人×5万円）

笠利診療所 1,150 千円（23人×5万円）

○訪問看護特別会計 200 千円

笠利診療所 200 千円（4人×5万円）